



# 農委だより 常総

平成29年1月1日発行  
第 22 号

〒303-8501  
茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3  
電話0297-23-2111(代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



農業委員会では、耕作放棄地を解消するため、荒れた農地を再生し、青パパイヤを作付して栽培しています。

## 年頭のごあいさつ



農業委員会 会長  
倉持 創一

新年あけましておめでとうございます。  
一昨年の関東・東北豪雨災害により甚大な被害を受けた常総市鬼怒川東部地区の水田地帯ですが、農家の方々のご尽力、様々な関係機関のご支援ご協力により、夏季前半の高温や後半の日照不足があつたものの無事に収穫に至ることができました。災害に負けないという強い意志のもとで農地の復旧等にご協力いただいたすべの方々に厚く御礼申し上げます。  
昨年は、「復興元年」と位置づけ、地域農業の復興及び発展振興に取り組んで参りましたが、農業従事者の高齢化や加速する担い手の減少、耕作放棄地の増大など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況であります。  
しかしながら昔から鬼怒川の恵みを受けて生活をして参りましたので、常総の地に「緑ゆたかなふるさと」が復活することを諦めずに、農地を守り担い手を育成することなどに積極的に取り組む所存です。今後とも当農業委員会業務にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。

本年もよろしく  
お願いいたします

農業委員  
(議席順)

- 岡野孝一
- 小磯重治
- 菊地正義
- 山本正男
- 田崎松男
- 門井貢
- 菊地まち子
- 喜見山明
- 渡辺勝一
- 飯田真由美
- 石塚寛一
- 沼尻隆志
- 斉藤洋一郎
- 内海浩之
- 中島清
- 橋本武夫
- 田村匡史
- 渡邊政一
- 横島文雄
- 山野喜仁
- 和木将勇
- 鈴木将一
- 稲葉元一
- 増田亮
- 倉金一廣
- 倉持創一

### 地域の担い手



飯沼地区  
折原 健一さん

我が家は水稲・胡瓜・レタスを栽培する専業農家です。

農業経営は自然との戦いであり、刻々と変わる気象条件の変化にあわせて肥料や農薬を散布し、作物の生育状況を見極めながら収穫適期を逃さないような仕事をしなければいけません。

特に昨年場合は、台風と秋雨前線の長雨、記録的な日照不足など全国的に天候不順で野菜の高値が続きましたが、生育不良で出荷量が減っただけではなく、収穫する野菜の品質が悪くなるなど、野菜づくりの難しさを痛感しております。

更に胡瓜の場合は、ほかの多くの野菜に比べて生育が非常に速く、規格にあわせるた

めに手間がかかり、収穫時期が始まると、毎日収穫が続くため、なかなか休みがとれず大変ですが、就農してからは規則正しい生活が送れるようになりました。

また、若手農業者の地域活動に参加することができ、いろいろな人の体験談や会話の中から勉強していくことで、食文化とともに農業の大切さを実感することができました。

農業を取り巻く環境もその時々で変わっていくと思いますが、農業後継者などの若手の仲間達と、地域農業を盛り上げて頑張っていきたいと思えます。

### 紹介農業委員



菊 地 委 員  
菊 地 委 員

農業後継者として両親と共に農作業に従事するほか、地域交流会などにも参加して、仕事に地域活動にと頑張っている折原さんを紹介いたします。

### 消費者として



内守谷地区  
瀬崎 つや子さん

秋はたくさん果物や野菜が直売所やスーパーに並び、新米の試食ができたり、野菜をおいしく食べるレシピなども置いてあります。

我が家でも数年前から、小さな畑で季節の野菜や果物を栽培しています。新鮮で美味しい旬の野菜を安心して食べることができるとうれしくなります。野菜作りの本などを参考に、珍しい新品種などいろいろ栽培したりして楽しんでいますが、料理の仕方がわからず困ったこともありました。また、たくさん収穫できた時は友達や近所の方にお裾分けをしています。県外に住む子供や兄弟、友人にも新米や野菜を時々送り喜ばれています。

実家の両親も農業をしていました。近所の方達と野菜を栽培し、共同で東京方面の市場などに、夏は枝豆、秋からはほうれんそう、ねぎ、人参などを出荷していました。朝早くから夕方まで休みなく畑仕事をしていました。忙しいときは手伝いに行きました。が、今では両親も高齢になり、家で食べる野菜だけを作っています。

若い方々が農業をしている姿を時々ニュース等で見かけますが、若い人が増え安全で安心して食べられる農産物をスーパーや直売所に並べてほしいと消費者として思います。

我が家でも数年前から、小さな畑で季節の野菜や果物を栽培しています。新鮮で美味しい旬の野菜を安心して食べることができるとうれしくなります。野菜作りの本などを参考に、珍しい新品種などいろいろ栽培したりして楽しんでいますが、料理の仕方がわからず困ったこともありました。また、たくさん収穫できた時は友達や近所の方にお裾分けをしています。県外に住む子供や兄弟、友人にも新米や野菜を時々送り喜ばれています。

### 紹介農業委員



之 将 員  
鈴 木 委 員

瀬崎さんは、内守谷公民館料理教室代表で、公民館祭りの際は瀬崎さんを中心に皆様の協力をいただき、食事の用意等に頑張っておられます。

**農地パトロールを実施**  
**(耕作放棄地の発生防止)**

農地の適正な管理を怠ると、雑草繁殖による児童・生徒の通学における不安や不法投棄の誘発、冬季における火災の発生、他の農地への害虫等の被害など、生活環境を脅かす原因となるだけでなく、ゴミの不法投棄による悪臭や汚水の発生源となり、近隣農業者や周辺住民に大きな迷惑となる可能性があります。

農業委員会では、遊休農地の実態把握と発生防止・解消違反転用発生防止・早期発見を目的に毎年市内全域で「農地パトロール」を実施しております。



昨年11月21日に市内を5地区に分けて実施しました

### 耕作放棄地解消に向けた取り組み

担い手の高齢化や経営環境の悪化によって、農地の耕作放棄地が年々増えてきています。

農業委員会では、所有者への農地適正管理指導を行うとともに、耕作放棄地問題のPRのため、農業委員自ら立ち上がり耕作放棄地解消活動を実施しております。農地の荒廃が進んだ結果、雑草や雑木が生い茂り景観を損ねている農地を、農業委員所有の重機を持ち込み、抜根、切断、整地を行い、平成26年度からは、次世代の食物青パパイアを作



あすなるの秋まつりでの販売(あすなるの里)

付して栽培しております。

昨年8月には台風9号の影響もあり、半分以上の青パパイアの枝が折れる等の被害がありました。10月30日にあすなるの里で開催された「あすなるの秋まつり」や、11月6日に石下庁舎で開催された「常総ふるさとまつり」では、数は少ないものの青パパイアの実やパパイア葉茶の販売をすることができ、健康に良く珍しさもあることから大変好評でした。

今後、良好な営農環境を保全するために、耕作放棄地の再生・有効利用の促進方を検討しながら、荒廃農地の発生防止と解消に向けた活動を進めてまいります。



常総ふるさとまつりでの販売(石下庁舎)

### かかしコンテストで農業委員会長賞授与

昨年11月6日に石下庁舎で開催された常総ふるさとまつりでは、農業まつりや商工業まつりなど、各種団体の出展や多彩なイベントで会場が盛り上がり、大勢の家族連れでにぎわいました。

そのような中、恒例のかかしコンテストの表彰式が行われ、個性豊かな52体のかかしの中から常総市第二保育所の「二モの小さな秋見つけた」が農業委員会長賞を受賞し、農業委員会長職務代理者の倉金一廣氏より賞状の授与がありました。大変おめでとうございました。



受賞式の様子

### 平成27年 主要業務実績

農地移動の実態 (1月~12月)

条 項 別	件数	面積(m <sup>2</sup> )	
3 条	所有権移転	105	236,170
	賃貸借	7	24,783
	使用貸借	15	99,816
	届 出	123	890,879
4 条	許 可	28	21,875
	届 出	7	5,374
5 条	許 可	107	151,091
	届 出	24	9,531
4・5条制限除外	19	28,141	
大臣許可	0	0	
18条解約	149	435,881	
証 明	非農地証明	4	1,866
	転用事実証明	0	0
	現況証明	5	3,396
農業経営基盤強化	546	2,233,654	

### 平成27年 農用地利用集積事業

(1月~12月)

地 区 別	面積(m <sup>2</sup> )	地 区 別	面積(m <sup>2</sup> )
水 海 道	34,192	内 守 谷	57,474
豊 岡	134,773	菅 生	238,618
菅 原	194,541	大 塚 戸	8,031
大 花 羽	68,050	石 下	91,844
三 妻	279,775	豊 田	70,789
五 箇	183,242	玉	187,017
大 生	363,199	岡 田	167,555
坂 手	42,251	飯 沼	112,303
計		2,233,654	

#### 田畑別面積

田 1, 683, 839 m<sup>2</sup>  
 畑 549, 815 m<sup>2</sup>  
 計 2, 233, 654 m<sup>2</sup>

# 農地法が改正されました

耕作放棄地の増加や高齢化による担い手不足など、農地をめぐる課題に重点的に取り組めるよう、農業委員会等に関する法律が改正され、昨年4月に施行されました。

この改正により、農業委員会委員の選任方法が変更され、これまで主に農業者による選挙とされてきましたが、これからは農業者等からの推薦によるほか、公募を行ったうえで、議会の同意を得て市長が任命することとなります。

また、地域における農地利用の最適化を図る「農地利用最適化推進委員」が新設されます。その選任にあたっては、農業者等からの推薦によるほか、募集を行ったうえで、農業委員会が委嘱することとなります。

今回の法改正では、農業委員の過半数は認定農業者であることが必要となり、年齢、性別等に偏りが生じないよう配慮することが求められ、女性や青年の登用にに向けた機運を高めることが必要になります。

今年7月の改選より適用となりますので、詳しくは市報やホームページでお知らせしてまいります。

## 農業者年金に加入しましょう

国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は、だれでも加入できます。

農地を持っていない農業者、配偶者や後継者などの家族従事者も加入できます。

自分が必要とする年金額の目標に向けて、自分で保険料を決められ、終身年金で80歳

までの保証付きで公的年金ならではの税制上の優遇措置があります。

詳しくはお近くの農業委員または、農業委員会事務局までお問い合わせください。



豊岡町細野地区で早生のひとめばれやコシヒカリを中心

に稲作をしている石塚さんを訪ねました。

石塚さんが作付している水田は、豊岡地区では一番低地にあり、豪雨時は周辺地区からの雨水の流入で、たびたび被害を受けていましたが、排水路が整備され、一昨年の関東・東北豪雨災害の水害の際は、その水路をはるかに超えて水田や宅地に水が流れ込んだものの、先代の方々が排水機場の整備をしてくれていたおかげで、冠水被害は免れたそうです。水は時には凶器として牙をむきますが、米作りには無くてはならない鬼怒川の豊かな水の恵みに感謝しながら

### 平成29年の農業用機械及び施設等の利用料金についてお知らせします

※利用料金は前年同様です。別途消費税がかかります。

作業名	機械種類	10アールあたり利用料金	備考
耕	畑	4,000円	
	水田(陸田)	一番耕 4,000円 二番耕 3,500円	土地の形状および条件により割増となる場合があります。畦畔ブロック盛起こし100mあたり1,000円
起	トラクタ	7,000円	
	畑	7,000円	
	水田	4,000円	
均平作業	バーチカルロー及びローサレベラー	17,000円	土地の形状および条件により割増となる場合があります。
肥料及び土壌改良剤散布		2,500円	運搬は含まず。又、片方のみ散布の場合は1,500円とする。
代かき		8,500円	雑草の多い田および均平作業を要する田は、時間あたり割増をする。
畦塗り	畦塗り機	機械による畦塗り1m50円	片側
育苗	育苗施設	硬面1箱あたり810円(税込) (予約が必要)	配達する場合は860円/箱とする。予約がない場合は50円/箱割増とする。
田植え	田植機	稚苗植え10アールあたり8,000円	側条施肥機の場合9,500円とする。
草刈り	フレーム等	3,000円	2番刈及び一般雑草(背丈が短いものに限り)。圃場の状況に応じて割増となる場合があります。(最高5,000円まで)

#### 水陸稲収穫作業料金

作業名	料金	備考
刈り取り・脱穀	22,000円	刈り取り困難な場については実情に応じて割増とする。(最高5,000円まで)
乾燥・調整	1,000円	玄米30キログラムあたり。(J A以外の施設)
運搬	5円	生籾1キログラムあたり運搬料。(JA以外の施設)

#### 麦の作業料金

作業名	料金	備考
麦のドリルまき及び肥料散布	5,000円	肥料散布をしない場合には4,000円とする。
刈り取り・脱穀	17,000円	コンバイン10aあたり麦類刈り取り脱穀料。
乾燥・調整	800円	麦類1袋あたり。(J A以外の施設)

A 3版の料金表は市農政課又はJA各支店で配布しています。詳しくは、常総市農政課水田農業支援係まで ☎25-0120

## 紹介 農業委員



中島 清 委員

農地の集約化が進んでいる中、作付面積を増やしながら頑張っている石塚さんを訪ねました。

がら、今後もおいしい米作りに励んで行くと、意欲的に話されていました。

## 編集後記

今回の表紙は、耕作放棄地の有効利用として実施したパイヤの栽培状況です。記事の内容は、連載となっております。記事の内容は、「地域の担い手」、「消費者として思うこと」及び「農家訪問」等、地域の農家に密着した内容をお届けします。

## 営農と暮らしに役立つ

## 全国農業新聞

発行日 毎週金曜日  
購読料 一ヶ月七百円  
お申し込みはお近くの農業委員会または農業委員会へ